

広島中央警察署本通交番庁舎新築工事に伴う 基本設計及び実施設計に係る公募型建築プロポーザル

【事業概要】

本通交番が立地する地域は、「ひろしま都心活性化プラン」(平成28年度策定)において、中国四国地方最大の「業務・商業ゾーン」と位置付けられており、今後、魅力と活力ある地域環境の創出に向けた動きが、ますます加速化していくことが見込まれている。

また、現在の交番は、昭和44年に建築された建物で、老朽化が進んでいる状況にあることから、地域の安全・安心の要として、交番の役割を最大限発揮させる高い機能性のもと、**「にぎわいと交流」を生み出す“ひろしま”を広く発信できる魅力を兼ね備えた公共建築物を創造するため、長年親しまれた現在地で建替整備するものである。**

【対象建築物】

- (1)建物名称：広島中央警察署 本通交番
- (2)所在地：広島市中区本通5-2
- (3)構造・規模：鉄筋コンクリート造又は鉄骨造
2階建 約140㎡(敷地面積:約131㎡)

【日程】

令和元年10月25日	プロポーザル公示
令和元年12月	技術提案書の提出者5者程度を選定
令和2年2月7日	5者程度を対象に公開ヒアリング等を実施し、設計者を特定
令和2年4月上旬	設計業務委託契約締結
令和2年度	基本・実施設計

【審査部会長】



(c) Luca Gabino

平田 晃久
建築家
/京都大学教授

【審査委員】



小野田 泰明
東北大学大学院教授

【審査委員】



角倉 英明
広島大学大学院
准教授



(C) Daici Ano

太田市美術館・図書館



苓北町民ホール

【審査委員】

広島県警察本部総務部施設課長 友国 雅章
広島県土木建築局建築技術部長 的場 弘明
【オブザーバー】
広島県都市圏魅力づくり推進課長 岡田 浩二

～審査部会長からのメッセージ～

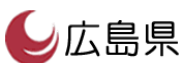
交番ほど、多面性を必要とする建築はありません。警察活動のフロントラインには当然、ある厳格さと機能性が求められます。しかし地域の安全の拠点として、親しみやすさや安心感、オープンな雰囲気も兼ね備える必要があります。街の中で目印となる強さを持つと同時に、街の賑わいに溶け込むものでもあるべきです。

とりわけ本プロポーザルの敷地である広島市中区本通は、広島という街の多様な魅力が交差する、異なる領域の接点に位置します。人々の賑わいに満ちた場所が、原爆の爆心地や平和公園、広島城や文化・行政の中心と隣接しています。このせめぎ合いの魅力が、これからも輝き続けるために、本交番は多面的な役割を果たすことになるでしょう。

威厳と親しみやすさ、機能と余白、静けさと喧騒、聖と俗、大きさと小ささ・・・様々な背反する側面が凝縮された交番をつくること。現代建築が取り組むべき最も興味深い課題のひとつに、応えることでもあります。

平田 晃久

主催



お問い合わせ
広島県土木建築局営繕課 営繕企画グループ
(〒730-8511 広島県広島市中区基町10-52)
TEL:082-513-2311 FAX:082-224-6411
MAIL:doeizen@pref.hiroshima.lg.jp

説明書などのダウンロードはこちら↓

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/miryoku/hondori-proposal.html>

本件プロポーザルは広島県の魅力ある建築物創造事業により実施しています。

広島県 魅力ある建築物創造事業

検索